

〈病院理念〉いつでも、だれもが、安心してかかれる医療を追求します。

倉敷医療生活協同組合
水島協同病院
 基幹型臨床研修病院
 倉敷市水島南春日町 1-1
 (代表) **086-444-3211**
 (外来) **086-444-1222**

うちの病院

No.367 2025年2月号



水協の
ホームページも
ご覧ください



LINE
お友達募集中!!

<https://www.mizukyo.jp>

水島協同病院では無料・低額診療事業を行っています

「事業所利用委員会ってなに??」お任せください。医療生協の真骨頂であるこの委員会をご紹介します。

本委員会は、倉敷医療生協の組合員さんと水島協同病院の職員とでつくる委員会です。委員会の役割は「組合員と職員が協力して、地域の方々にたくさん利用してもらえ、素敵な病院にする!」というものです。これを実現するため、組合員・患者さん目線で見たい水島協同病院の課題や素敵なところを出していただいたり、ふれあいカードで出さ



心強い組合員さんあってこそこの委員会です

「事業所利用委員会ってなに??」お任せください。医療生協の真骨頂であるこの委員会をご紹介します。

本委員会は、倉敷医療生協の組合員さんと水島協同病院の職員とでつくる委員会です。委員会の役割は「組合員と職員が協力して、地域の方々にたくさん利用してもらえ、素敵な病院にする!」というものです。これを実現するため、組合員・患者さん目線で見たい水島協同病院の課題や素敵なところを出していただいたり、ふれあいカードで出さ

れた意見への改善策を考えたります。同時に職員からも組合員さんに協力いただきたいこと、知ってもらいたいことをお伝えします。その中で明らかになった課題を解決し、素敵な病院にしようと頑張っています。

目下の課題は、「接遇の向上」です。組合員さんや地域のみなさんから、愛着をもって「うちの病院」と言ってもらえるよう、委員会は全力を尽くします。

(事業所利用委員会 岸本友也)



会議の様子 発行前の広報紙も見てもらっています

水島協同病院事業所利用委員会

素敵な病院にしたい!

水島協同病院事業所利用委員会を毎月開催しています。

身体的拘束等最小化チーム活動について
 患者さんの人権に目を向けて

2024年6月より、院内に「身体的拘束等最小化チーム」を結成したので、ご紹介させていただきます。

身体拘束とは、「衣類または綿入り帯等を使用して一時的に該当患者の身体を拘束しその運動を抑制する行動の制限」をいいます(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律より)。身体拘束には、ミトン(手袋)での手の動きの制限・ベッド柵で囲んでベッドから降りられなくすること・自分で脱げない寝巻の着用・手足を紐で固定することなどが含まれます。「拘束」人の行動を制限する」のは、その人の人権や人格をも侵してしまう危険な行為です。

当院においてもそれをしなければ命の危険があると判断された場合のみ、やむを得ず身体拘束を行っている現状があります。このような状況を少しでも改善するために、院内での身体的拘束に関する指針を策定し、院内全職員への教育の実施に取り組み始めました。また、日常的にチームによるカンファレンスを第1・第3月曜日に行っています。チームは医師・ソーシャルワーカー・医療安全管理者・作業療法士・看護部長・各病棟師長

・認知症看護認定看護師と多職種で、入院患者さんの安全と人権を守るべく、それぞれの職種の得意分野を活かしたカンファレンスとなるよう取り組み始めたところです。まだまだ時間はかかると思いますが、身体拘束のない水島協同病院を目標にこれから院内でシームレスに活動していきたいと思っています。

(身体的拘束等最小化チーム 船木千恵美)



カンファレンスでは今後の方針を具体的に話し合う

当院看護師の土居美代子氏 (摂食嚥下障害認定看護師)
令和6年度倉敷市保健福祉功労者
市長表彰を受けました



賞状を手にする土居さん

受賞した土居看護師の喜びの声

2024年11月7日、倉敷市より「保健事業功労賞」を表彰していただきました。摂食嚥下障害認定看護師として当院だけではなく地域への発信を長年行った事を評価して頂き恐縮しております。水島協同病院の多くの仲間の理解と協力があったら成し得なかったと感謝の気持ちで一杯です。食べることへの関心や知識は、病院だけでなくグループホームや施設などとの連携が必要と感じております。これからも院内のみならず地域へ情報発信を行っていきたくと思います。

※倉敷市保健福祉功労者市長表彰とは、多年にわたり倉敷市において保健福祉の各分野で功績のあった個人・団体などを表彰するものです。